

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)		授業形式					
E111B028		総合的な学習の時間の指導法 (Method of instruction in integrated studies)							対面					
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語	その他に使用する言語	担当形態						
必修	1	2	教育学部	後学期	金4	日本語		単独						
担当教員	氏名 伊藤安浩													
	E-mail yasuihiro-ito@oita-u.ac.jp 内線 7636													
授業の概要	総合的な学習の時間の意義、目的と内容、計画の立て方と、学習指導の基本的な考え方、特に探究的な学習における学習指導のあり方、評価の方法を理解する。また、実践事例に基づきながら、グループ討議を通して、総合的な学習の時間の計画、実施、評価に至る一連の流れと全体的な構造を理解する。													
具体的な到達目標							DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7
目標1	総合的な学習の時間の意義、目的と内容を定める際の考え方を理解し、説明できる。							○	○					
目標2	年間指導計画と単元計画の作成の考え方を、具体例とともに理解し、説明できる。							○	○					
目標3	探究的な学習における学習指導のあり方、学習状況の評価の方法と留意点を理解し、説明できる。							○	○					
目標4														
目標5														
目標6														
目標7														
目標8														
目標9														
目標10														
各DPへの関連度(計10)								6	4					
授業の内容														
1 総合的な学習の時間の意義と教育課程における位置付け～各教科等との関係～														
2 総合的な学習の時間の目標と内容														
3 年間指導計画の作成と具体例														
4 単元計画の作成と具体例														
5 探究的な学習における学習指導～課題の設定、情報の収集、整理・分析、まとめ・表現～														
6 学習状況の評価の方法と留意点														
7 総合的な学習の時間の実践事例の検討1～グループ討議と発表～														
8 総合的な学習の時間の実践事例の検討2～グループ討議と発表～														
9														
10														
11														
12														
13														
14														
15														
ラーニング	A:知識の定着・確認		○	グループ討議と発表の場を設ける。			工夫 その他							
	B:意見の表現・交換		○											
	C:応用志向													
	D:知識の活用・創造													
授業時間外学修の内容と想定時間	準備学修		参考書の指定された個所を読んでくる。(20h)											
	事後学修		課題に解答する。ノートを読み直すなどして理解を深める。(25h)											
	想定時間合計		45											
教科書	使用しない。													
参考書	文部科学省「小学校学習指導要領(平成29年告示)」東洋館、平成30年2月 文部科学省「小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 総合的な学習の時間編」東洋館、平成30年2月 文部科学省「今、求められる力を高める総合的な学習の時間の展開(小学校編)」教育出版、平成23年6月 文部科学省「今、求められる力を高める総合的な学習の時間の展開(小学校編)」PDF、令和3年3月													

成績 評価 方法 及び 評価 割合	評価方法		割合	目標 1	目標 2	目標 3	目標 4	目標 5	目標 6	目標 7	目標 8	目標 9	目標 10
	期末試験		70%	○	○	○							
	グループ討議と発表		30%	○	○	○							
注意事項													
備考													
リンク													
		URL											